

本県のあゆの価値を高め、観光や地域振興に有効かつ持続的に活用することで、中山間地域をはじめ県経済の発展に寄与するようにビジョンを強化し、取り組みをさらに進化

3つの視点

- ①取組の成果を明確にするためにKPIを設定
- ②取組の成功事例を横展開
- ③取組に携わる関係者を拡大

1 次期ビジョンの位置付け等

- 次期計画の期間は、令和6年度から令和9年度までの4年間とする。
- ビジョンの柱は、第1期ビジョンと同様に、「高知のあゆに触れられる機会づくり」、「高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり」、「高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり」、「高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり」とし、あゆを観光や地域振興等に有効かつ持続的に活用する。

2 取り組み方針

1 高知のあゆに触れられる機会づくり

2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり

3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり

観光	食	釣り	情報発信	加工・流通販売	体験・教育
<ul style="list-style-type: none"> ①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり ②旅行商品づくりのための環境整備 ③観光キャンペーンへのあゆの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ①県内の飲食店等であゆを食べてもらう機会づくり ②県外の飲食店等で高知のあゆを食べてもらう仕組みづくり ③調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもたちがあゆに親しむことができる機会づくり ②遊漁者の増加に向けた仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①SNSやホームページ等を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築 ②あゆの販路開拓・拡大のための取り組みの実施 ③消費者への販売促進や県産あゆのファンづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもたちが川に親しむ学習などの実施 ②大人の学習・体験機会の創出

4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり

資源回復・保全

- ①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施

- ・ 成功事例を横展開することで取り組みの幅を広げ、県産あゆの価値をさらに向上
- ・ 取り組みに携わる関係者を増やし、新たな取り組みや地域等の連携を創出